



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

行動変容と協働で成果を生む地域プロデューサー

加藤 肇子 (かとう けいこ)

(株)まちづくり観光デザインセンター 代表取締役社長



○ 登録者情報

所在地

北海道札幌市

略歴

最終学歴

2022年 北海道大学大学院農学院博士課程 単位取得満期退学

職歴

1987年～北海道リース(株) 財務部、審査部、常務秘書

1990年～NHK札幌放送局 営業推進部

1993年～ビデオリサーチ(株)北海道支社 ダイレクトマーケティング部

1997年～北海道経済産業局 消費経済課消費者相談室

2000年～北海道新聞「花新聞ほっかいどう」創刊編集長

2007年～シーニックバイウエイ支援センター事務局長

2008年～北海道開発技術センター参事を兼任

2018年～(株)まちづくり観光デザインセンター設立

公職

2012年～北海道地方競馬運営委員

2017年～JAF社員

2019年～北海道漁業漁村振興審議委員

2022年～公益財団法人 地域育成財団理事

教育・研究

2021年～京都文教大学総合社会学部 客員研究員

著書・論文等

・「北海道の農村における着地型観光の可能性」 北海道大学農経論叢68集 p53-62 2013年4月

・「地域主導型エネルギー事業と農村滞在ツーリズム事業の統合的設計の試み」 地域経済経営ネットワーク研究センター年報 p54-60 2021年10月

・「高島市における発酵ツーリズムの可能性についての考察」 地域協働研究ジャーナル第3集p33-39 2023年3月

〇 行動変容と協働で成果を生む地域プロデューサー

取組の内容

地域住民・行政をつなぐ協働型地域づくりを専門とし、以下の分野で現場伴走型の支援を行っています。

構想設計から、実践、組織化、事業化、定着まで一貫しているのが強みです。

- ・地域おこし協力隊の採用設計、育成、定着支援、受入体制構築
- ・若者・女性・移住者の行動変容を促す対話型ワークショップ設計と伴走支援
- ・地域資源を活かした新商品開発・観光商品造成・プロモーション支援
- ・行政・大学・住民・事業者による協働体制の構築支援
- ・観光ビジョン策定、農泊推進、ワーケーション事業設計、関係人口創出支援

複数地域で成果を上げてきた再現性の高い手法：自治体職員・地域リーダーと地域の課題をフィールドワークやヒアリングで把握し、解決に向けて無理のないプログラムを提案します。そして伴走しながら、地域づくりの情熱を下げないよう持続的に機能する体制づくりを作り上げ、最終的に外部支援が不要となる自立的な地域運営を目指しています。



若者の挑戦と地域産業振興をつなぐ
「アースデイ能代」



芸術祭来場者を地域食でおもてなし
「さぬきお結び定食」「源内だんご」の開発

実績

全国で協働型地域づくりの実績を有しています。
道北、日高管内、釧路市など18か所で地域おこし協力隊員の支援モデルの構築と中核人財を育成。
能代市で高校生主体の「アースデイ能代」を支援し、5年間で参加校が1→5に拡大。農水省「みどり戦略学生チャレンジ賞」受賞に結実。
さぬき市では「瀬戸内国際芸術祭2025」開催を契機に、20の団体と共に新たな体験プログラム等を造成、地域一丸となった受け入れを実践し、誘客成果を創出。

工夫した点や苦労した点

地域ごとに異なる課題や人間関係を踏まえ、初動段階から行政・若者・女性・移住者たちの意見を丁寧把握し、合意形成を重視して事業設計を行ってきました。
主体性を引き出すため、対話型ワークショップや小規模な実践を積み重ね、成功体験を享受してもらいながら、段階的に参画者を拡大しています。
利害調整や継続性の確保の苦労は、伴走支援を通じて地域リーダーと共に乗り越え、自立的な運営体制の構築に結び付けてきました。

ひとことPR

人の行動が変わると、地域は必ず動きます。
行政・若者・女性・移住者をつなぎ、対話と伴走で「自ら動き続ける地域」を全国各地で育ててきました。
人財育成から事業化、協働体制づくりまで、再現性の高い手法で、その地域に合ったオーダーメイド型で成果を出しています。
人が育ち、地域が自走する仕組みづくりが強みです。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	○ 地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	○ 廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他 アースデイ能代、アースデイ男鹿
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	○ 効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

(株)まちづくり観光デザインセンター	https://www.meet-talk-design.jp/

連絡先

メールアドレス	kato.k [アットマーク] meet-talk-design.jp		
---------	-------------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。